

文学の世界

| | | | |
|--------------|--------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科文学分野 平林 香織 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 人間科学科文学分野 | | |
| 担当教員 | 平林 香織 教授、三浦 康宏 助教 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義 21 時間 |
| 期間 | 前期 | | |

・学習方針（講義概要等）

時間を超越した美しい文学は、人生のモデルともなり、人々の生きる指標やこころの差さえともなる。生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、驚きと喜びなど、文学に表現されたテーマは実にさまざまであり、その表現方法も千差万別である。本講義では岩手県の文学、とりわけ石川啄木の短歌を取り上げ、その表現方法の深さと豊かさを理解し、生涯の宝となりうる文学的教養の世界への扉を開く。生きるとは自分の人生の歌を歌うことであり、他者を理解することは、他者の人生の歌に耳を傾けることである。歌ことばの理解を通して、医療人に必要な病者の歌を聴き想像力と治癒のプロセスを語る創造力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力を理解し、文学における非日常的なことばが持つイメージ喚起力について体感できるようになる。実践的な読解能力を身につけるとともに、作品について自分のことばで考える力が身につく。文学の世界を理解するために、映画、漫画、アニメーション、能楽、歌舞伎といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。附属図書館や公共図書館を利用して多くの文学に触れる。生涯にわたり文学を通じて人生のさまざまな側面について学ぶ習慣を身につける。

・到達目標（SBO）

- 1.さまざまなジャンルの文学に触れ、作者の生き方や作品について理解できる。
- 2.すぐれた作品に接し、それを読み味わう能力を高める。
- 3.様々な価値観・考え方に触れ、それを参考にしながら、広い視野と深い洞察力を身につける。
- 4.文学の近接ジャンルにも興味を持ち、幅広い問題意識を養い育てる。
- 5.読書の習慣を身につける。

・ 講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|---------------|----------|-----------------------------------|
| 4/15 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 歌について一万葉集から J-POP まで |
| 4/22 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 歌留多形式の可能性—百人一首から いろはがるたまで |
| 5/13 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | イメージする脳—絵と文字 |
| 5/20 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 韻律のトポス—スパークする長句 (五七五) と短句 (七七) |
| 5/27 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 歌と季題—盛岡の自然と短歌 |
| 6/3 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 短歌でたどる石川啄木の一生 |
| 6/10 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | ふるさとの文学—啄木と盛岡 |
| 6/17 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 仰ぎ見る山—啄木と岩手山 |
| 6/24 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | さまざまな愛のかたち—啄木が愛し た人々 |
| 7/1 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 人生の意味—啄木の苦悩 |
| 7/8 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 人と自然—啄木が詠んだ動植物 |
| 7/15 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | かなしみとは何か—啄木の悲哀 |
| 7/22 | 水 | 1 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 啄木の生きた時代—自由を求めて |
| 7/22 | 水 | 2 | 人間科学科 文学分野 | 平林 香織 教授 | 啄木を取り巻く人々—盛岡の先人た ち |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------|------|--------|------|
| 教 | 啄木かるた | 吉田光彦 | 奥野かるた店 | 2009 |

・成績評価方法

受講態度（20%）、課題への取組（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--|----|---------------|
| 講義 | ノート型 PC | 1 | 講義資料の提示 |
| 講義 | エルモ書画カメラ | 1 | 講義資料の提示 |
| 講義 | DVD (BR) プレーヤー | 1 | 教材の提示 |
| 講義 | デスクトップパソコン (DELL Precision T3500 カスタマイズ) | 1 | 講義資料作成、プレゼン、他 |